

公 告

このたび東津軽郡平内町の地区を受益地とする小湊地区経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）（暗渠排水）を青森県営土地改良事業として施行すべきことを申請したいから、土地改良法（昭和24年法律第195号）第85条第2項の規定により、下記の書類とともにこの旨を公告する。

なお、この受益地区内にある農用地の所有者で、その農用地について耕作若しくは養畜の業務を営まない者又はこの地域内にある農用地以外の土地で所有権以外の権原に基づいて使用収益している者で、その農用地又はその他の土地について、この県営土地改良事業に参加しようとする者は、土地改良法第3条の規定により、令和8年2月16日までに平内町農業委員会に申し出られたい。

また、当該県営土地改良事業の施行に係る地域内の農地につき、この事業の工事の完了の公告の日（その公告において工事の完了の日が示されたときは、その示された日）の属する年度の翌年度の初日から起算して8年を経過しない間に農地以外に転用されたことに伴い、この事業につき地元分担金以外の事業費のうち当該転用農地に係るものを返還する場合には当該転用農地につき土地改良法第3条に規定する資格を有する者から特別徴収金を徴収する。

令和8年2月6日

申請人

氏 名 新岡 博

氏 名 小関 貴裕

氏 名 田中 和美

記

1 掲示書類

- (1) 土地改良事業計画概要書
- (2) 予定管理方法等を記載した書面
- (3) 事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準を記載した書面
- (4) 受益地域を記載した書面

2 掲示場所

平内町掲示場及び青森県庁ウェブサイト

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/kanri_01.html



土地改良事業計画概要書

経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）

県	名	:	青	森	県
地	区	名	:	小	湊
所	在	地	:	平	内町
事業	主体	:	青	森	県

目 次

第1章	目 的	-----	1
第1節	目 的	-----	1
第2節	地 積	-----	1
第2章	地域の所在及び現況	-----	1
第1節	地域の所在及び地形	-----	1
第2節	土質及び土壌	-----	1
第3節	気 象	-----	1
第4節	水 利 状 況	-----	2
第5節	道 路 状 況	-----	2
第6節	営 農 状 況	-----	2
第7節	地域環境の概況	-----	2
第3章	基本計画	-----	2
第1節	事業計画の要旨	-----	2
第2節	営農計画及び土地利用計画	-----	2
第3節	用 水 計 画	-----	3
第4節	排 水 計 画	-----	3
第5節	道 路 計 画	-----	3
第6節	農用地造成計画	-----	3
第7節	洪水調節計画	-----	3
第8節	干拓計画	-----	3
第9節	農用地整備計画	-----	3
第10節	老朽ため池改修計画	-----	3
第4章	工事又は管理の要領	-----	4
第1節	主要工事計画	-----	4
第2節	工事の施行方法	-----	4
第3節	工事完了後の施設の管理	-----	4
第5章	換地計画の要領	-----	4
第1節	換地計画樹立の必要性	-----	4
第2節	換地計画樹立の基本方針	-----	4
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する 国有地等の編入承認に係る地積	-----	4
第6章	費用の概算	-----	4
第7章	効 用	-----	4
第8章	他の事業との関係	-----	4
第9章	計画概要図	-----	5

第1章 目 的

第1節 目 的

本地区は、平内町を流れる二級河川小湊川沿いに広がる水田地帯で、水稻を中心とした営農が行われている。

水田の区画は前歴事業により30aに整備されているが、一部エリアでは排水不良が見られ、大型機械の作業効率が悪く、水路においては土水路及び前歴事業により布設された製品の老朽化が見られ、通作や維持管理等に苦慮している。

このため、本事業により用排水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、担い手への農地集積を加速化し、本地域の農業競争力の強化を図るものである。

第2節 地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	田	畑	山林 原野	その他	合計	備考
平 内 町	50.3	-	-	-	50.3	
計	50.3	-	-	-	50.3	

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在及び地形

1. 所 在

本地区は、平内町中央部に位置し、二級河川小湊川沿いに広がる水田地帯である。

2. 地 形

本地区は、地区南側から北側に1/117程度の勾配で傾斜を有し、標高は6.6～24.9mである。

第2節 土質及び土壌

本地区の土壌は、強グライ土壌強粘土還元型、礫層土壌地鉄盤層型の2つのタイプである。

第3節 気 象

1. 一般気象

観測所名	野辺地地域 気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	S2年～R6年	5月～9月	10月～4月		
平 均 気 温 (℃)		18.5	4.9	10.6	
降 水 量	平 均 (mm)	656	653	1,309	
	基準年 (mm)	657	856	1,513	基準年 昭和52年
降水日数	平 均 (日)	49	98	147	
	基準年 (日)	60	126	186	基準年 昭和52年
根 雪 期 間		12月29日～3月3日		65 日間	
無 霜 期 間		5月15日～10月13日		153 日間	
最 多 風 向		W	最大風速 (風向)	20 m/s (W)	最多風向発生時期 11月～3月 最大風速発生年月日 令和3年 1月 7日

2. 特殊気象

観測所名 野辺地地域気象観測所

観測期間 S2年～R6年	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日
最大日雨量	183mm	H28. 8. 17	166mm	H19. 11. 12	165mm	S44. 8. 23	156mm	S41. 10. 13	144mm	H13. 9. 11
最大連続 雨 量	314mm	S10. 8. 21 ～ S10. 8. 26	310mm	H14. 8. 7 ～ H14. 8. 15	266mm	S19. 11. 30 ～ S19. 12. 31	265mm	S2. 12. 18 ～ S2. 12. 31	231mm	H19. 11. 10 ～ H19. 11. 15
最大連続 干天日数	59日	S3. 7. 18 ～ S3. 9. 14	59日	S21. 7. 4 ～ S21. 8. 31	52日	H25. 5. 12 ～ H25. 7. 2	42日	S48. 6. 9 ～ S48. 7. 20	41日	S22. 7. 28 ～ S22. 9. 6

第4節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水は、二級河川小湊川を水源としている。また、地区内の水路は土水路及び製品で、前歴事業により敷設された製品に老朽化が見られ、水管理及び維持管理に多大な労力を費やしている。

2. 排水状況

本地区の排水は、二級河川小湊川水系小湊川に直接排水されている。地区内の排水路のほとんどは土水路であり維持管理に多大な労力を費やしている。

第5節 道路状況

該当なし

第6節 営農状況

本地区は稲作中心の農業形態である。

第7節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第3章 基本計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

農業用排水路を整備することで、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の拡大を図り、これと併せて土地所有の集団化、地域の担い手農家への農地の集積・集約化を促進する。
なお、事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動または移植し、保護する。

2. 事業別面積

(単位：ha)

土地利用 区分 事業目的	水田	畑						計	備 考
		普通畑	果樹園	牧草地	茶園	その他	小計		
用 水 改 良	50.3	-	-	-	-	-	-	50.3	()は用水改良と重複で内数
排 水 改 良	(25.1)	-	-	-	-	-	-	(25.1)	
計	50.3	-	-	-	-	-	-	50.3	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、水稻に野菜を組み合わせた複合経営方式による農業経営の安定化を図る。また、担い手への農地の集積・集約化を促進し、機械の大型化により作業効率を向上させ、高効率で生産性の高い農業経営を確立する。

2. 土地利用区分

(単位：ha)

土地利用 区分	水田	畑					小計	原野	山林	その他	計	備 考
		普通畑	果樹園	牧草地	茶園	その他						
現 況	50.3	-	-	-	-	-	50.3	-	-	-	50.3	
計 画	50.3	-	-	-	-	-	50.3	-	-	-	50.3	

3. 作付計画

田 : 水稻、飼料用米
輪換畑 : ばれいしょ

A= 48.4 ha
A= 0.3 ha

第3節 用水計画

1. 計画基準年 昭和52年

2. かんがい方式

水田 : 湛水かんがい方式

かんがい期間 5月10日～9月1日 (代掻期間 5月10日～5月19日)

3. 計画用水量

代掻期 純用水量 $0.195\text{m}^3/\text{s}$ 粗用水量 $0.229\text{m}^3/\text{s}$
普通期 純用水量 $0.127\text{m}^3/\text{s}$ 粗用水量 $0.149\text{m}^3/\text{s}$

4. 水源計画

小湊川水系小湊川 (二級指定河川) を水源とする。

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

123.5mm/day (1/10確率雨量)

2. 計画排水方式

本地区の排水は、小湊川へ自然排水している。

3. 流域面積

平地 0.251km^2 山林等 0.075km^2 計 0.326km^2

4. 計画排水量

$0.361\text{m}^3/\text{s}$ (1/10確率排水量)

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第4章 工事又は管理の要領

第1節 主要工事計画

用水路工	L=	5,144 m
排水路工	L=	1,268 m

第2節 工事の施行方法

1. 工事は、原則として請負施工で行う。
2. 工事着手及び完了の予定時期
令和8年度 着手
令和13年度 完了予定

第3節 工事完了後の施設の管理

本事業で造成された施設については、平内町が管理する。

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

該当なし

第2節 換地計画樹立の基本方針

該当なし

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

該当なし

第6章 費用の概算

事業費： 345,450 千円

工事関係費： 329,000 千円

事務的経費： 16,450 千円

(但し、事業費は物価の変動等により増減の生ずることもある。)

第7章 効 用

(単位：千円)

区 分 \ 項 目	年総効果(便益)額	年総増加農業所得額	備 考
作 物 生 産 効 果	34,506	-	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	△ 15,272	-	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	447	4,168	食料の安定供給の確保に関する効果
国産農産物安定供給効果	6,940	-	その他の効果
計	26,621	4,168	令和7年度単価

< 参 考 >

総 費 用 : 313,005 千円

総 便 益 額 : 543,312 千円

総費用総便益比 : $543,312 \div 313,005 = 1.73$

第8章 他の事業との関係

区分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	事 業 内 容
異種	小湊地区経営体育成基盤整備事業 (暗渠排水)	青森県	15.6	暗渠排水工 15.6ha

第9章 計画概要図

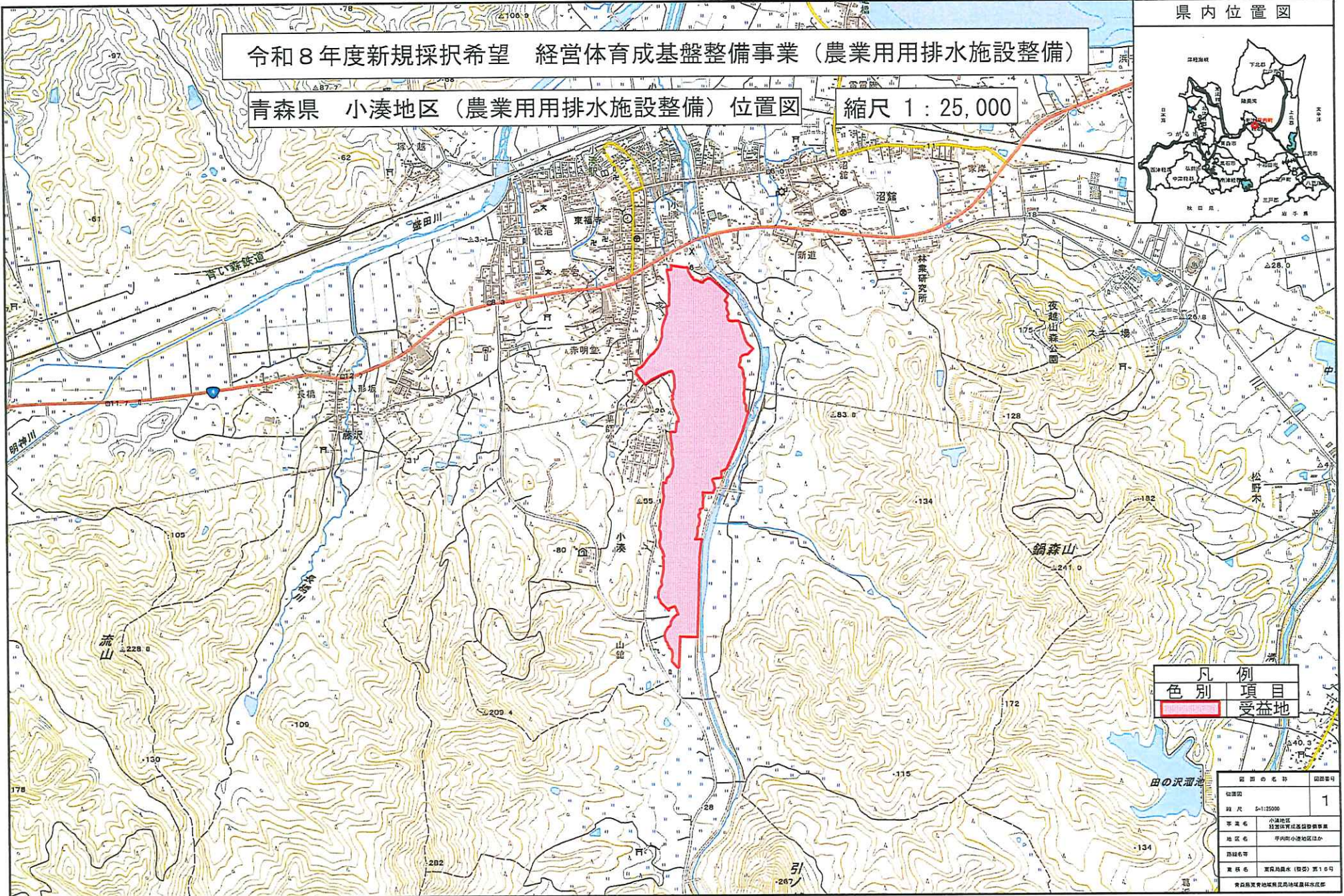
別紙添付図面のとおり

令和8年度新規採択希望 経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）

青森県 小湊地区（農業用排水施設整備）位置図

縮尺 1 : 25,000

県内位置図



凡例	項目
色別	受益地

図面の名称	図面番号
位置図	1
縮尺	1:25000
事業名	小湊地区経営体育成基盤整備事業
地区名	平内町小湊地区ほか
路線番号	
資料名	測量図（数値）第1号
資料作成者	青森県農業振興局農林水産部

小湊地区（農業用排水施設整備）計画概要図



国道4号

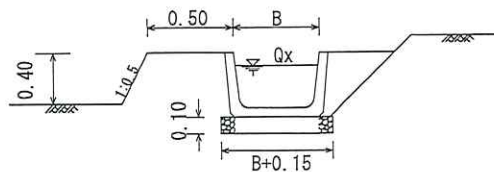


県内位置図

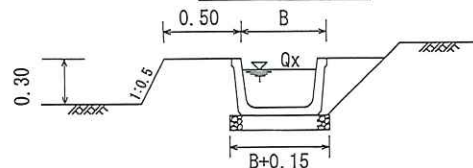


標準構造図

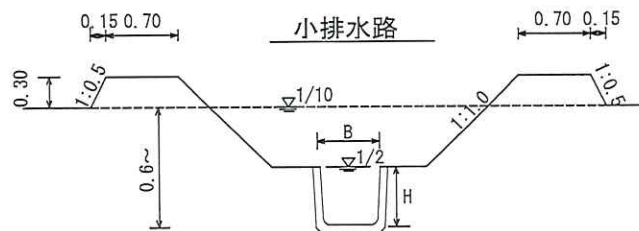
支線用水路



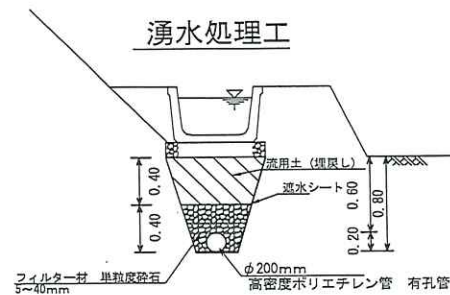
小用水路



小排水路



湧水処理工



凡	例
記号	事項
	地区界
	国道・町道
	支線用水路
	小用水路
	小排水路
	水田

図面の名称	図面番号
計画概要図	2
縮尺	5=1:12000
事業名	小湊地区 農業排水施設整備事業
地区名	中内町小湊地区ほか
路線名等	
設計者	建設局農水（建設）第16号

青森県農業地域振興局地域政策課

予定管理方法等を記載した書面

経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）

県	名	:	青	森	県
地	区	名	:	小	湊
所	在	地	:	平	内町
事	業	主	体	:	青森県

県営小湊地区経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）によって造成された施設の予定管理方法

1. 管 理 者

本事業によって造成される施設は、平内町が管理する。

2. 管理すべき施設の種類

用水路工	L =	5,144 m
支線用水路	L =	2,192 m
小用水路	L =	2,952 m
排水路工	L =	1,268 m
支線排水路	L =	- m
小排水路	L =	1,268 m

3. 管理に要する費用の概算及び負担の方法

(1) 概算の費用

0 千円/年

(2) 負担の方法

平内町が負担する。

事業費の負担区分の予定及び 地元負担の予定基準を記載した書面

経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）

県名：	青森	県
地区名：	小湊	湊
所在地：	平内町	町
事業主体：	青森	県

事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準を記載した書面

1. 事業費の負担区分

区 分		事 業 費	負 担 予 定			
			国	県	市町村	受益者
工 事 費	負担予定率(%)	100	55.0	27.5	10.0	7.5
	負担予定額(千円)	329,000	180,950	90,475	32,900	24,675
事務的経費	負担予定率(%)	100	－	100.0	－	－
	負担予定額(千円)	16,450	－	16,450	－	－
合 計	負担予定額(千円)	345,450	180,950	106,925	32,900	24,675

2. 地元負担金の負担方法

(1) 市町村負担金の負担方法

市町村負担金は、土地改良法第91条第6項の規定に基づき平内町が負担する。

(2) 受益者負担金の負担方法

受益者負担分については、土地改良法第91条第2項の規定により、平内町が負担し、平内町は同条第3項の規定に基づき、条例により受益者から徴収する。

受益地域を記載した書面

経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）

県	名	:	青	森	県
地	区	名	小		湊
所	在	地	平	内	町
事	業	主	体	青	森
					県

受益地域を記載した書面

市 町 村	大 字	字	地 域								
東津軽郡 平内町	小湊	赤川	10								
			字 計 1 筆								
		家ノ下	47	48	49	50	51	52	53	54	55
			56	57-1	58	59	60	61	62	63	64
			65	66	67	68	69	70-1	70-2	71	72
			73	74	75	76	77	78	79	80	81
			82	83	84	85	86	87-1	89	90	91-1
			92-1	92-3	92-4	93-1	94	95	96	97	98
			99	100	101	102	103	104	105	106-1	106-2
			107	108	109	110	111	112	113	114	115
			116	117	118	119-1	119-2	120-1	121-1	122	123
			124	125	126	127	128	129	130-1	130-2	131-1
			131-3	131-4	132-1	133	134	135	136	137	138
			139	140	141	142	143	144	145	146	147-1
			153	154	155	156	157	158			
			字 計 114 筆								
		観音	37-1	77-1	78-1	79	80-1	80-2	81	82	83
			84	85	86	87	88	89	90	91	92
			93	94	95	108-1	109	110	111	112	113
			114	115	116-1	116-2	117	118	119	120	121
			122-1	122-2	123	124					
			字 計 40 筆								
			合 計 155 筆								

土地改良事業計画概要書

経営体育成基盤整備事業（暗渠排水）

県	名	:	青	森	県
地	区	名	:	小	湊
所	在	地	:	平	内町
事業主体	:	青	森	県	

目 次

第1章	目 的	-----	1
第1節	目 的	-----	1
第2節	地 積	-----	1
第2章	地域の所在及び現況	-----	1
第1節	地域の所在及び地形	-----	1
第2節	土質及び土壌	-----	1
第3節	気 象	-----	1
第4節	水 利 状 況	-----	2
第5節	道 路 状 況	-----	2
第6節	営 農 状 況	-----	2
第7節	地域環境の概況	-----	2
第3章	基本計画	-----	2
第1節	事業計画の要旨	-----	2
第2節	営農計画及び土地利用計画	-----	2
第3節	用 水 計 画	-----	3
第4節	排 水 計 画	-----	3
第5節	道 路 計 画	-----	3
第6節	農用地造成計画	-----	3
第7節	洪水調節計画	-----	3
第8節	干拓計画	-----	3
第9節	農用地整備計画	-----	3
第10節	老朽ため池改修計画	-----	3
第4章	工事又は管理の要領	-----	3
第1節	主要工事計画	-----	3
第2節	工事の施行方法	-----	3
第3節	工事完了後の施設の管理	-----	3
第5章	換地計画の要領	-----	3
第1節	換地計画樹立の必要性	-----	3
第2節	換地計画樹立の基本方針	-----	3
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する 国有地等の編入承認に係る地積	-----	3
第6章	費用の概算	-----	3
第7章	効 用	-----	4
第8章	他の事業との関係	-----	4
第9章	計画概要図	-----	4

第1章 目 的

第1節 目 的

本地区は、平内町を流れる二級河川小湊川沿いに広がる水田地帯で、水稻を中心とした営農が行われている。
水田の区画は前歴事業により30aに整備されているが、一部エリアでは排水不良が見られ、大型機械の作業効率が悪く、通作や維持管理等に苦慮している。
このため、本事業によりほ場へ暗渠排水を敷設することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、担い手への農地集積を加速化し、本地域の農業競争力の強化を図るものである。

第2節 地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	田	畑	山林 原野	その他	合計	備考
平 内 町	15.6	-	-	-	15.6	
計	15.6	-	-	-	15.6	

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在及び地形

1. 所 在

本地区は、平内町中央部に位置し、二級河川小湊川沿いに広がる水田地帯である。

2. 地 形

本地区は、地区南側から北側に1/117程度の勾配で傾斜を有し、標高は6.6～23.1mである。

第2節 土質及び土壌

本地区の土壌は、強グライ土壌強粘土還元型、礫層土壌地鉄盤層型の2つのタイプである。

第3節 気 象

1. 一般気象

観測所名	野辺地地域 気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	S2年～R6年	5月～9月	10月～4月		
平 均 気 温 (℃)		18.5	4.9	10.6	
降 水 量	平 均 (mm)	656	653	1,309	
	基準年 (mm)	657	856	1,513	基準年 昭和52年
降水日数	平 均 (日)	49	98	147	
	基準年 (日)	60	126	186	基準年 昭和52年
根 雪 期 間		12月29日～3月3日		65 日間	
無 霜 期 間		5月15日～10月13日		153 日間	
最 多 風 向		W	最大風速 (風向)	20 m/s (W)	最多風向発生時期 11月～3月 最大風速発生年月日 令和3年 1月 7日

2. 特殊気象

観測所名 野辺地地域気象観測所

観測期間 S2年～R6年	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日
最大日雨量	183mm	H28.8.17	166mm	H19.11.12	165mm	S44.8.23	156mm	S41.10.13	144mm	H13.9.11
最大連続 雨 量	314mm	S10.8.21 ～ S10.8.26	310mm	H14.8.7 ～ H14.8.15	266mm	S19.11.30 ～ S19.12.31	265mm	S2.12.18 ～ S2.12.31	231mm	H19.11.10 ～ H19.11.15
最大連続 干天日数	59日	S3.7.18 ～ S3.9.14	59日	S21.7.4 ～ S21.8.31	52日	H25.5.12 ～ H25.7.2	42日	S48.6.9 ～ S48.7.20	41日	S22.7.28 ～ S22.9.6

第4節 水利状況

1. 用水状況

該当なし

2. 排水状況

該当なし

第5節 道路状況

該当なし

第6節 営農状況

本地区は稲作中心の農業形態である。

第7節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第3章 基本計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

ほ場への暗渠排水整備を行うことにより、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の拡大を図り、これと併せて土地所有の集団化、地域の担い手農家への農地の集積・集約化を促進する。
なお、事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動または移植し、保護する。

2. 事業別面積 (単位：ha)

土地利用 区分 事業目的	水田	畑						計	備 考
		普通畑	果樹園	牧草地	茶園	その他	小計		
暗 渠 排 水	15.6	-	-	-	-	-	-	15.6	
計	15.6	-	-	-	-	-	-	15.6	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、水稻に野菜を組み合わせた複合経営方式による農業経営の安定化を図る。また、担い手への農地の集積・集約化を促進し、機械の大型化により作業効率を向上させ、高効率で生産性の高い農業経営を確立する。

2. 土地利用区分 (単位：ha)

土地利用 区分	水田	畑					小計	原野	山林	その他	計	備 考
		普通畑	果樹園	牧草地	茶園	その他						
現 況	15.6	-	-	-	-	-	15.6	-	-	-	15.6	
計 画	15.6	-	-	-	-	-	15.6	-	-	-	15.6	

3. 作付計画

田 : 水稻、飼料用米
輪換畑 : ばれいしょ

A= 14.8 ha
A= 0.3 ha

第3節 用水計画	該当なし
第4節 排水計画	該当なし
第5節 道路計画	該当なし
第6節 農用地造成計画	該当なし
第7節 洪水調節計画	該当なし
第8節 干拓計画	該当なし
第9節 農用地整備計画	該当なし
第10節 老朽ため池改修計画	該当なし

第4章 工事又は管理の要領

第1節 主要工事計画

暗渠排水 A= 15.6 ha

第2節 工事の施行方法

1. 工事は、原則として請負施工で行う。
2. 工事着手及び完了の予定時期
令和8年度 着手
令和13年度 完了予定

第3節 工事完了後の施設の管理

本事業で造成された施設については、平内町が管理する。

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

該当なし

第2節 換地計画樹立の基本方針

該当なし

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

該当なし

第6章 費用の概算

事業費： 82,950 千円

工事関係費： 79,000 千円

事務的経費： 3,950 千円

(但し、事業費は物価の変動等により増減の生ずることもある。)

第7章 効 用

(単位：千円)

区 分 \ 項 目	年総効果(便益)額	年総増加農業所得額	備 考
作物生産効果	2,641	2,723	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	8,566	8,566	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	-	-	食料の安定供給の確保に関する効果
国産農産物安定供給効果	510	-	その他の効果
計	11,717	11,289	令和7年度単価

< 参 考 >

総 費 用 : 105,896 千円

総 便 益 額 : 209,137 千円

総費用総便益比 : $209,137 \div 105,896 = 1.97$

第8章 他の事業との関係

区分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	事 業 内 容
異種	小湊地区経営体育成基盤整備事業 (農業用排水施設整備)	青森県	50.3	用水路工 5,144m 排水路工 1,268m

第9章 計画概要図

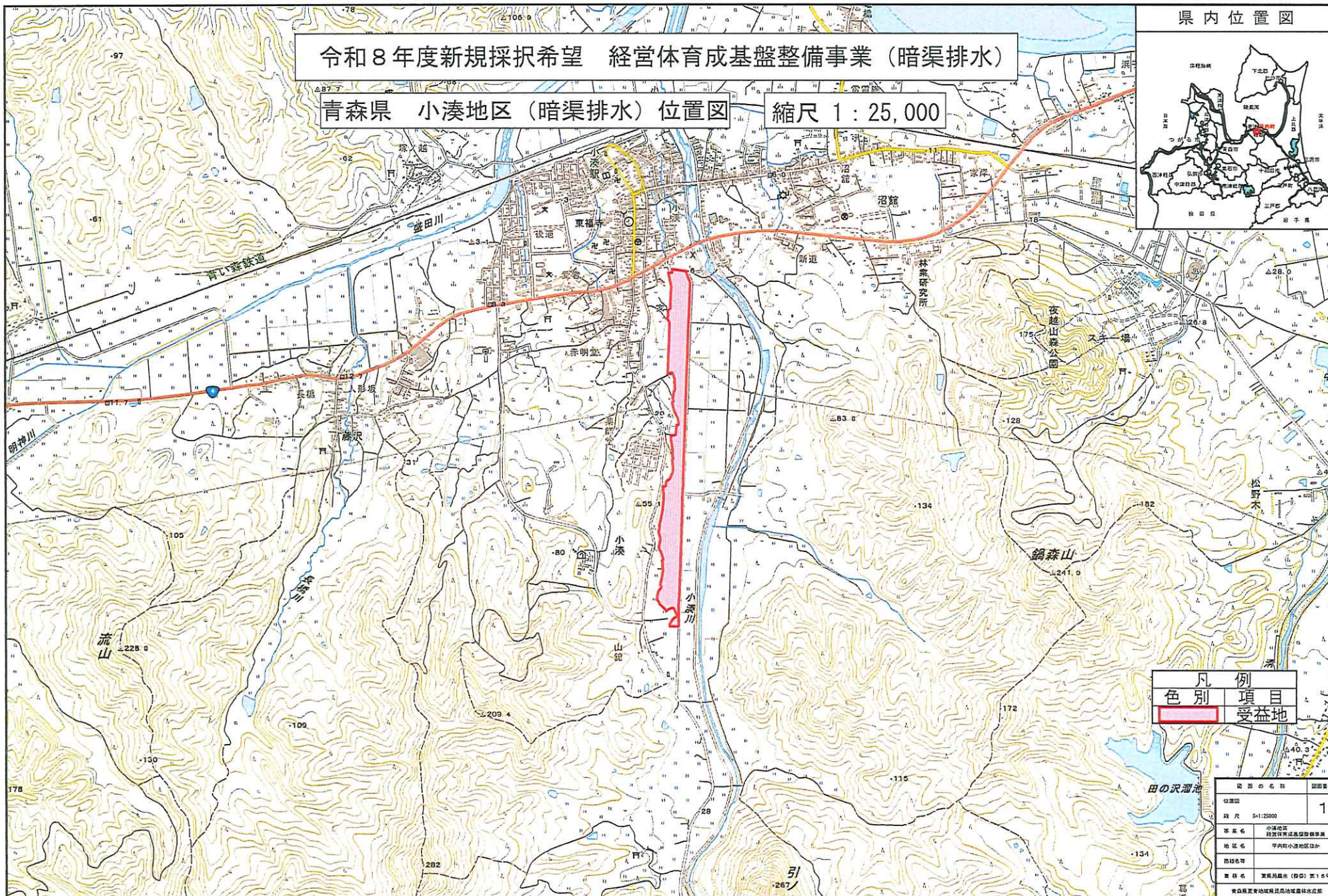
別紙添付図面のとおり

令和8年度新規採択希望 経営体育成基盤整備事業（暗渠排水）

青森県 小湊地区（暗渠排水）位置図

縮尺 1 : 25,000

県内位置図



凡例	色別	項目
	赤	受益地

図面の名称	図面番号
位置図	1
縮尺	1:25000
事業名	小湊地区経営体育成基盤整備事業
地区名	小湊地区（暗渠排水）
図面番号	第1号
製図者	青森県建設部（建設）第1号

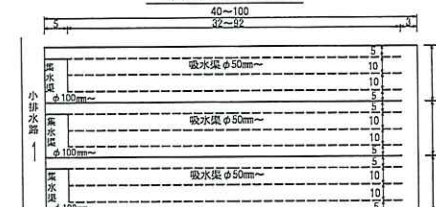


町道 小湊外童子線

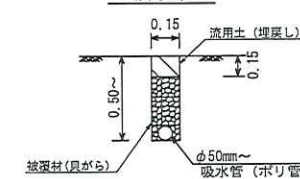
凡 例	
記 号	事 項
	地 区 界
	国 道 ・ 町 道
	暗 渠 排 水
	水 田

標準構造図

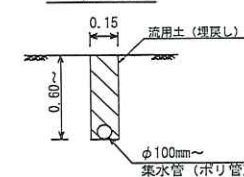
暗渠排水工



吸水渠



集水渠



國 際 港 名 稱		國際海峽
計劃範圍		2
規 尺	S=1:12000	
軍 業 名	小嶼地區 將軍澳新發展區發展	
地 區 名	坪內小嶼地區(港)	
路 線 名		
實 業 名	港島新發展區(發展)第16段	

予定管理方法等を記載した書面

経営体育成基盤整備事業（暗渠排水）

県	名	:	青	森	県
地	区	名	:	小	湊
所	在	地	:	平	内町
事業	主	体	:	青	森県

県営小湊地区経営体育成基盤整備事業（暗渠排水）によって造成された施設の予定管理方法

1. 管 理 者

本事業によって造成される施設は、関係農家が管理する。

2. 管理すべき施設の種類

暗渠排水工 A＝ 15.6 ha

3. 管理に要する費用の概算及び負担の方法

関係農家が直接管理する。

事業費の負担区分の予定及び 地元負担の予定基準を記載した書面

経営体育成基盤整備事業（暗渠排水）

県名：	青森	県
地区名：	小湊	湊
所在地：	平内町	町
事業主体：	青森	県

事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準を記載した書面

1. 事業費の負担区分

区 分		事 業 費	負 担 予 定			
			国	県	市町村	受益者
工 事 費	負担予定率(%)	100	55.0	27.5	10.0	7.5
	負担予定額(千円)	79,000	43,450	21,725	7,900	5,925
事務的経費	負担予定率(%)	100	-	100.0	-	-
	負担予定額(千円)	3,950	-	3,950	-	-
合 計	負担予定額(千円)	82,950	43,450	25,675	7,900	5,925

2. 地元負担金の負担方法

(1) 市町村負担金の負担方法

市町村負担金は、土地改良法第91条第6項の規定に基づき平内町が負担する。

(2) 受益者負担金の負担方法

受益者負担分については、土地改良法第91条第2項の規定により、平内町が負担し、平内町は同条第3項の規定に基づき、条例により受益者から徴収する。

受益地域を記載した書面

経営体育成基盤整備事業（暗渠排水）

県	名	:	青	森	県
地	区	名	:	小	湊
所	在	地	:	平	内
事	業	主	体	:	青

受益地域を記載した書面

市 町 村	大 字	字	地 域								
東津軽郡 平内町	小湊	家ノ下	121-1	122	123	124	125	126	127	128	129
			130-1	130-2	131-1	131-3	131-4	132-1	133	134	135
			136	137	138	139	140	141	142	143	144
			145	146	147-1						
									字 計	30	筆
		観音	108-1	109	110	111	112	113	114	115	116-1
			116-2	117	118	119	120				
									字 計	14	筆
									合 計	44	筆